

アルファ・ワイン調査部

➤ 求職・求人情報のインターネットウェブサイトを運営

- ・ディップ(以下、同社)は、インターネットを利用した求人情報を提供するサービスや人材紹介サービスを行い、アルバイト、派遣、契約社員、正社員、あるいは医療関係者などの特定の労働形態や職種などに応じた専用のウェブサイトを運営している。同社の事業はメディア事業とエージェント事業に大別されている。
- ・メディア事業は求人広告事業であり、同社が運営するインターネット上の求人ウェブサイトに出稿する企業から受け取る求人情報掲載料が売上高となる。同社の主力ウェブサイトは「バイトル」、「はたらこねっと」、「バイトルNEXT」の3つである。エージェント事業は、看護師専門の求人ウェブサイト「ナースではたらこ」を運営、人材紹介による成功報酬を収益としている。

➤ 2018年2月期第1四半期業績は19.9%増収、17.1%営業増益と好調

- ・2018/2期第1四半期決算は、売上高9,815百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益2,585百万円(同17.1%増)であった。第2四半期累計(以下、上期)決算予想に対する進捗率は売上高54.2%(前年同期51.4%)、営業利益64.4%(同51.3%)と、前年同期の進捗率から見ると上期予想に対する進捗は好調であった。
- ・メディア事業は、売上高8,927百万円(前年同期比19.6%増)、セグメント利益3,150百万円(同10.8%増)であった。主力ウェブサイト別売上高は、「バイトル」7,683百万円(同18.3%増)、「はたらこねっと」1,240百万円(同29.0%増)、今回初めて開示された「バイトルNEXT」733百万円(同89.1%増)であった。「はたらこねっと」が大きく伸長したのは、派遣以外の案件、例えばコールセンター要員等を積極的に取り込んだためである。「バイトルNEXT」は正規雇用を目指すというコンセプトを打ち出し、アルバイトを採用しにくい、あるいはすぐ辞められてしまう事業所・会社の人手不足を打開したい求人需要及び求職者ニーズの合致が成長を後押しした。
- ・エージェント事業であるウェブサイト「ナースではたらこ」は、売上高887百万円(前年同期比22.7%増)、セグメント利益350万円(同196.4%増)であった。サイトのリニューアルやキャリアアドバイザー要員の育成が奏功した。
- ・売上総利益率は前年同期比1.1%ポイント改善の94.2%となった。新卒307名の大量採用、広告宣伝活動の強化、本社移転費用によって販売費及び一般管理費は同22.9%増と増収率を上回った。固定費負担増から営業利益率は0.7%ポイント悪化し26.3%となったが、増収効果により営業利益は同17.1%増益となった。

➤ 2018年2月期業績予想

- ・同社は2018/2期業績について、上期予想、通期予想とも期初の会社計画を据え置いた。ウェブサイト別の業績は上期及び通期予想とも開示していない。1株当たり年間配当金は39円を計画している。
- ・求人情報ビジネス以外の新事業部設立を17年6月1日に設立し、7月時点の同部の人数は約30名となっている。期初の業績予想時点では織り込んでいない新事業部だが、期初予想業績には影響のない範囲で展開している。

➤ アルファ・ワイン調査部の2018年2月期業績予想

- ・アルファ・ワイン調査部(以下、当調査部)の2018/2期業績予想は売上高40,000百万円(前期比20.6%増、会社計画38,000百万円)、営業利益11,000百万円(同順で20.6%増、10,500百万円)とする従来予想を据え置いた。同社計画を上回る業績予想を策定した要因は、「バイトル」の当調査部予想売上高が会社想定(会社予想は非公表)よりも高い想定をおいたためと推察される。加えて2017/2期第4四半期より「バイトル」の情報掲載料単価が、労働需給環境を反映し強含んでいることも考慮している。
- ・新分野の事業となる「LIMEX」の販売事業(開発及び製造は株式会社TBM)については、同社が国内における普及推進役として販売に努める模様である。紙製造が木材と多量の水を消費するのに対し、紙代替素材の「LIMEX」は地球上に無尽蔵にある石灰石が主成分であり環境に優しい点に当調査部は注目している。既に世

界 43 カ国で特許取得・申請中であり、日本では同社が販売会社として普及に努める模様である。某飲食チェーン店のメニュー表や名刺として既に採用され、納品価格は従来品と同価格に収まる模様である。売上高目標は開示しておらず、18/2 期末における新部署の陣容も 30 名から 150 名と流動的で業績に対するコスト負担は不明である。したがって現時点では、売上高の点では織り込まず、コストについても広告宣伝費の僅かな抑え込みで賄えると判断した。

・前期比 16.5% 増収、18.2% 営業増益とする当調査部の 2019/2 期業績予想も据え置いた。来春以降も 300 名～330 名の採用を想定し、採用も順調に進むと思われることから、予想並みの業績は達成可能と判断している。

➤ 株主還元

・当調査部では、同社が配当性向 30% 程度を維持すると想定し、当調査部の業績予想を踏まえ、2018/2 期の 1 株当たり年間配当金を 40 円(会社予想は 39 円)と予想する。当調査部は 2019/2 期も増益が続くと予想しており、配当性向 30% を基準に増配が続くと予想する。なお、株主優待のクオカードは継続予定である。

【 2379 ディップ 業種：サービス業】 株価(7/12終値)2,604円、時価総額161,448百万円、会社予想基準PER(今期)20.6倍

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2016/2 通期	26,798	37.2	7,162	49.0	7,170	48.8	4,675	63.7	84.4	183.8	26.0
2017/2 通期	33,178	23.8	9,119	27.3	9,141	27.5	6,167	31.9	111.2	264.8	36.0
2018/2 通期CE	38,000	14.5	10,500	15.1	10,501	14.9	7,023	13.9	126.6	—	39.0
2018/2 通期E	40,000	20.6	11,000	20.6	11,001	20.3	7,350	19.2	132.2	361.1	40.0
2019/2 通期E	46,600	16.5	13,000	18.2	13,001	18.2	8,700	18.4	156.5	428.2	47.0
2017/2 1Q	8,188	30.0	2,208	22.5	2,208	22.6	1,456	42.1	26.3	—	—
2018/2 1Q	9,815	19.9	2,585	17.1	2,588	17.2	1,810	24.3	32.6	—	—

(注)CE:会社予想、E:アルファ・ワイン調査部予想

ディスクレーマー

アルファ・ワイン 調査メモ（以下、本メモ）は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ワイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

但し本件はその限りではありません。

本メモは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様が本レポートを利用したこと、又は本メモに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本メモの内容は、一般入手可能な公開情報に基づきアナリストの取材等を経て分析し、客観性・中立性を重視した上で作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者等の従事者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本メモに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本メモに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本メモの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

連絡は、電子メール【info@awincap.jp】にてお願いいたします。但し、お問い合わせに対し、弊社及び本レポート作成者は返信等の連絡をする義務は負いません。